ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 14

1 基本項目

事務事業名	ものづくり人材定住促進事業	担当部署	課等名	企画政策課（企画広報室）
予算事業名	ものづくり人材定住促進事業		係名	企画係（企画戦略係）
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-23-1067
事務区分	自治事業	予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度：平成29年度　終了年度：当面継続		款	総務費
総合計画 目標名	目標３．輝くまち		項	総務管理費
総合計画 政策名	政策11．新たな価値と活力を創出するまちづくり		目	企画費
総合計画 施策名	施策27．雇用・労働環境の充実	総合計画主な事業		記載なし
総合計画 基本事業名	基本事業27－１．雇用の促進	総合戦略との関連		関連あり（評価対象）
根拠法令		集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし	評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	北陸職業能力開発大学校の学生を対象にした奨学金制度
対象	北陸職業能力開発大学校学生
手段（活動指標）	奨学金の貸与
意図（成果指標）	ものづくり人材の魚津市定住を推進するため

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① 奨学金貸与者数	人	0	3	3	3	100.0%	3
活動 ②							
成果 ① 卒業した貸与者数のうち魚津市在住者数	人	7	7	7	7	100.0%	7
成果 ②							

4 コスト情報

区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費合計（A）	円	0	985,600	2,847,600	1,898,400		92.6%	2,848,000
事業費 財源内訳 ①国庫支出金	円							
事業費 財源内訳 ②県支出金	円							
事業費 財源内訳 ③地方債	円							
事業費 財源内訳 ④その他（使用料、雑入等）	円							
事業費 財源内訳 ⑤一般財源	円		985,600	2,847,600	1,898,400		92.6%	2,848,000
人件費 ①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	－	0.0%	1
人件費 ②年間所要時間	時間	200	200	200	200	－	0.0%	200
人件費 ③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	820,800	820,800	820,800	820,800	－	0.0%	820,800
総費用（A＋B）	円	820,800	1,806,400	3,668,400	2,719,200		50.5%	3,668,800

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

能開大学務課より、推薦された３名について１学年分の奨学金貸与を行った。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	C	C	① 自治体関与の妥当性	2 検討の余地あり
			② 目的の妥当性	2 検討の余地あり
			③ 対象の妥当性	2 検討の余地あり
有効性	C	B	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	B	B	① コスト効率	3 低い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	C	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	

今後の方針

	現状を維持		事業の拡充
○	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

令和６年度より新規受付を再開したものの、効果が現れるのは少なくとも４年後となるため、今後も事業の効果・コストの状況を注視しつつ、事業の改廃について検討して参りたい。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 8

1 基本項目

事務事業名	若者雇用促進事業			課等名	商工観光課
予算事業名	若者等雇用促進事業			係名	商工労働・企業立地係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-6195
事務区分	自治事務			会計	一般会計
事業期間	開始年度	平成31年度	終了年度	当面継続	款	労働費
総合計画 目標名	目標３．輝くまち				項	労働諸費
総合計画 政策名	政策11．新たな価値と活力を創出するまちづくり				目	労働諸費
総合計画 施策名	施策27．雇用・労働環境の充実				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業27－１．雇用の促進				総合戦略との関連	関連あり（評価対象）
根拠法令					集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし				評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	・求人を行う市内事業所と新卒学生・求職者等のマッチングを図るため、合同企業説明会を開催する。 ・市内小学生に市内のものづくり企業等について調査・学習し、実際に見学体験を行うことにより、本市のものづくり産業等について理解を深め、興味を持ってもらうことで、将来の人材育成を図る。
対象	小学生、高校生、市内企業　他
手段（活動指標）	民間企業による合同説明会の開催支援。
意図（成果指標）	市内事業所の魅力を若年者に伝え、雇用を促進する。

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 合同企業説明会の開催件数	件	1	1	1	1	100.0%	1
活動	②							
成果	① 合同企業説明会参加者求職者数	人	120	140	180	150	83.3%	180
成果	② 合同企業説明会参加企業数	社	33	30	40	38	95.0%	40

4 コスト情報

	区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	192,500	137,500	440,000	362,450	0	163.6%	740,000
財源内訳	①国庫支出金	円							
財源内訳	②県支出金	円							
財源内訳	③地方債	円							
財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円							
財源内訳	⑤一般財源	円	192,500	137,500	440,000	362,450		163.6%	740,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	2	－	100.0%	1
人件費	②年間所要時間	時間	100	100	100	300	－	200.0%	100
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	410,400	410,400	410,400	1,231,200	－	200.0%	410,400
総費用（A＋B）		円	602,900	547,900	850,400	1,593,650	0	190.9%	1,150,400

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

（事務事業の内容）
・民間企業と共催で高校生合同企業説明会開催（6/19：会場、ありそドーム 参加高校生数約150名　出展企業数38社）
・説明会に出展する市内企業に参加料を半額助成する。（８社出展　27,500円/社　助成金計220,000円）
・小学生市内企業見学・体験事業を実施（２校、バス・運転手代計142,450円）

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

市内企業が市内の高校生の採用を求めているにもかかわらず、知名度不足から思うように採用が進まない現状を踏まえ、現在の高校生向けの企業説明会を開催し、市内企業の説明会出展を支援する必要がある。（大学生等向けについては、県庁が開催していることや市内に多くの大学が存在しないことから市主催の開催を平成31年度で終了とする。）

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 9

1 基本項目

事務事業名	女性活躍推進事業			課等名	商工観光課
予算事業名	若者等雇用促進事業			係名	商工労働・企業立地係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-6195
事務区分	自治事務			会計	一般会計
事業期間	開始年度	令和3年度	終了年度	当面継続	款	労働費
総合計画 目標名	目標３．輝くまち				項	労働諸費
総合計画 政策名	政策11．新たな価値と活力を創出するまちづくり				目	労働諸費
総合計画 施策名	施策27．雇用・労働環境の充実				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業27－２．労働環境の整備及び多様な働き方の支援				総合戦略との関連	関連あり（評価対象）
根拠法令					集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし				評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	働く人が性別を問わず、仕事と生活の調和を図り、自らの能力を活かしながら活躍できる職務領域の拡大を目的として、スキルアップセミナーを開催する。
対象	魚津市内で勤務する人
手段（活動指標）	スキルアップセミナーの開催
意図（成果指標）	セミナー参加者数

3 指標

活動指標名・成果指標名		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 女性活躍推進に関するシンポジウム・セミナー開催件数	件	3	3	1	2	200.0%	1
活動	②							
成果	① セミナー参加人数	人	26	13	25	20	80.0%	25
成果	②							

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	966,735	882,456	750,000	500,000	0	-43.3%	750,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円	483,000	441,000					
事業費 財源内訳	②県支出金	円							
事業費 財源内訳	③地方債	円							
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	400,000						
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	83,735	441,456	750,000	500,000		13.3%	750,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	1	2	―	0.0%	1
人件費	②年間所要時間	時間	400	600	100	200	―	-66.7%	100
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	1,641,600	2,462,400	410,400	820,800	―	-66.7%	410,400
総費用（A＋B）		円	2,608,335	3,344,856	1,160,400	1,320,800	0	-60.5%	1,160,400

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

（事業の内容）
スマートフォン等を使った効果的な撮影技術を実践的に学んでもらうため、「撮影のプロ直伝仕事ですぐに使える写真術」と題し、令和８年２月２０日に、魚津水族館を会場として、スキルアップセミナーを開催した。
講師に、現役記者として活躍している株式会社北日本新聞社 新川支社 編集部の椎名哲平氏と、ＮＨＫ「イナガキヤスト“絶景建築”を撮る」での番組出演をはじめ、富山県内のフォトアンバサダーを務めるフォトグラファーのイナガキヤスト氏を招き、座学と実践の２部構成で実施した。当日は、市内の事業者等20名（定員による満席）が参加し、貴重な講義と直接指導を受け、満足度の高いセミナーとなった。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

R3、R4と引き続き企業代表者や人事担当者を対象としたシンポジウムを開催し、R5、R6はロールモデルの育成という観点で、市内で勤務する女性を対象にセミナーを開催した。しかし、参加者が少なかったことと、参加者より３回参加することへの負担感があるなどの意見があったことより、セミナー事業は縮小することとする。